

節目を迎えた上下水道の基盤強化の担い手のこれから



横浜ウォーター創立10周年特別企画

就任インタビュー

10年の軌跡とこれからの事業展開

「横浜ウォーターならではの」を体現する中期計画2023

横浜ウォーター代表取締役社長 鈴木慎哉氏

横浜ウォーターは、2010年7月の創立から今年で丸10年の節目を迎えた。同社のこの10年間の足跡は、上下水道の基盤強化に向けた大きな貢献への「進化」の過程とも言える。本紙では、同社のこの節目を機に特集号を企画。先月24日に代表取締役社長に就任した鈴木慎哉氏のインタビューを実施した。そのお話を、横浜水道局、環境創造局のトップのメッセージも掲載することで、同社の今後の事業展開を展望した。



創立から10年の歩み

今年7月、創立から10年の節目を迎えられたわけですが、はじめに、これまでの歩みについて振り返っていただけますか？

鈴木社長 これまでの10年につきましては、横浜水道局100%出資の会社として2010年7月の創立から2013年度までを創設期、2014年度から2016年度までを成長期、2017年度から2019年度までを成熟期と位置づけ、中期計画2019の計画期間となりまして、2020年度から2022年度までを成長加速期と位置づけ、取組を進めてまいりました。東日本大震災被災地である宮城県山元町の支援

横浜ウォーターの創立10周年に寄せて

横浜市水道局長 大久保智子



機動的に対応することによって、着実に実績を積み重ねてまいりました。設立当初の小さな事務所が、今もなお、感謝の気持ちでいっぱいです。

横浜市環境創造局長 小林正幸



創設10周年を迎えられ、海外に加え、国内の上下水道事業に向けて、より積極的かつ戦略的に支援活動に取り組んでいくことを期してまいりました。

柔軟、機動的な対応で着実に実績を

平成9年7月に水道局のパート企業として誕生した横浜ウォーター株式会社は、創立10周年を迎えました。誠に意義深いことであり、大変喜ばしく思っております。

振り返ると横浜ウォーターの事業は、水道局の浄水場運転管理と研修業務からスタートし、フィリピンでのJICA技術プロジェクトの受注を機

に、海外の水事業にも進出しました。さらに宮城県山元町の上下水道事業に経営に係るアドバイザリー業務の受託をきっかけに他の地域へ展開し、国内外ともに事業を拡大してまいりました。

一つ一つの案件に相手先の立場で丁寧に取り組み、水道事業を取り巻く様々な環境の変化の中で株式会社としてのプロジェクトの受注を機

国内外の課題解決し更なる飛躍へ

また、2019年3月には、宮城県山元町などの国内フィリピン

機動的に対応することによって、着実に実績を積み重ねてまいりました。設立当初の小さな事務所が、今もなお、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、2019年3月には、宮城県山元町などの国内フィリピン

「マーケティング」と「イノベーション」をもって公営力強化を

推進する多角的な活

推進する多角的な活... 負荷軽減、資するも、社会貢献については、自治体との協力を通じて、上下水道の実務におきましても、地域への参加を促すことが重要です。



丸森町で給水支援活動を行う鈴木氏（手前右）



台風19号で被災した常陸大宮市で支援活動



座間町で行った設備診断の様子



中井町で実施した水圧調査



横浜ウォーターと横浜市による山元町への支援の取り組みが国土交通大臣賞(循環のみ下水道賞)を受賞

山元町で行った長寿命化調査

山元町で行った長寿命化調査... 新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。



給水装置工事を完了した検査業務の作業風景

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ

新たな課題や市場変化を整理し、活動方針を掲げます。海外では、途上国におけるSDGs達成に向けた国際的な連携の重要性が高まり、あ